



2023・12・25
富岡保育園

2023 年もあっという間に過ぎさろうとしています。先日の熊日に 30 年後の苓北町の人口が載っていました。3800 人、それがこの数字です。30 年後の 2050 年には今の人口の 60%程度が苓北町に残っているだけです。その時富岡には何人の子供がいるのでしょうか。どこに行けば子供達は群れて遊べるのでしょうか。

だからこそ今の富岡保育園の責任は大きいと感じています。今の子ども達にはどこへ行っても生き抜ける逞しい大人になってもらわねばなりません。本物の幼児教育が求められているのです。富保に残された時間は後どれだけか分かりませんが、来年も全職員力を合わせて子ども達に楽しい幼児期を過ごさせる為のお手伝いをして行こうと思っています。

その為にご家庭の皆様にご覧いただきたいことがあります。それは絵本の読み聞かせです。先日の研修会でもありましたように、絵本は子どもの心に大きな栄養を与えてくれます。昼間おとうさんおかあさんと別れて寂しい思いをしていますが、夜お家の人から読んでもらう絵本はその寂しさを十二分に満たしてくれます。子どもの心が愛で満たされていると、子どもは落ち着いて保育園で過ごせます。友達と切磋琢磨したり折り合ったりする力も生まれてきます。担任にして頂く絵本の読み聞かせよりも、お家の人に読んでもらう読み聞かせの方が子どもにはずっと嬉しいのです。保育士にはどうしても追いつかないことです。

明年もご家庭と力を合わせて子どもたちの教育に励んでいきたいと思っています。本年に賜りました数々のご協力に深く感謝申し上げますとともに、来年度もよろしくお願いいたします。

これは、12月の「広報れいほく」で富岡保育園が大切にしていることを公開したものです。来年度の入所申し込み受付は1月15日から2月9日までになっておりますので入所希望される方は期間内に手続きをおねがいいたします。

～園の特徴～

どこまでも続く空と、青く澄んだ広い海。この天草の大自然のように、子どもたちは生まれながらに、大きな可能性をもっています。限りない好奇心をふくらませ、色々な経験をしながら成長していく子どもたち。

自分から伸びて行こうとするその力を信じるわたしたちは、その主体性を大切にする保育をめざしています。子どもたちが思わず飛びついてしまう環境を様々な考え工夫して提供し、そこでの楽しい経験が、子どもたちの心を育ててくれます。まさにこの「こころ」を育てることこそが、私たちのミッション(使命)なのです

太陽の下で思いっきり遊び、家庭的な手づくりのご飯やおやつを食べて、いっぱい泣いていっぱい笑って、心もからだも大きくなっていく子どもたち。

ここから飛び立つ子どもたちの笑顔がいつまでも輝き続けるよう、楽しい思い出をたくさん残してあげたいと思います。

保育参観・育児講座へのご参加ありがとうございました！！

12月9日(土) 保育参観・育児講座へのご参加ありがとうございました。せっかくの保育参観ではありませんでしたが直前に未満児クラスにノロウイルス感染症が報告され、拡大予防の為ひよこ組とうさぎ組の保育参観は中止となりました。楽しみにして下さっていた保護者の皆様には申し訳ありませんでした。

育児講座は、「心を育む絵本の力」と題して、東京から福音館書店の上田紀人先生にお越し頂きました。

上田先生と富岡保育園のご縁は今回で3回目になります。富岡保育園がこれまで「絵本」を大切にしてきたことを上田先生のお話を伺いながら再確認できました。絵本を通して子ども達の「こころ」を育てているのです。保育園にはたくさんの絵本を揃えています。5000冊はとっくに超えています。たくさんの絵本を毎日の保育にどんどん活用してきました。しかし、保育園だけでは子ども達の心に届かないのです。どうかお家で10分だけでもいいので「絵本の時間」を作っておいて下さい。

福音館の月刊絵本を保護者の方に購入して頂いて50年になります。作家さんたちと編集者の方々が長い時間をかけて1冊の絵本として子ども達に届けて下さる月刊絵本を、私達保育士も心を込めて読み聞かせてからお家に持ち帰ってもらいますので、どうか活用して下さい。

上田先生がお話下さった内容をまとめてご紹介します。

- 1、 絵本とは
・子どもにとって絵本とは「読んでもらう」もの 字が読めないから読んでやるのではなく子どもの心の成長に必要な**心の三大栄養素である。(愛情・笑顔・語りかけ)**を与えることが出来る。
1、 絵本を心から楽しむためには
・本物の絵本を選んでほしい。**心が動かせるとかがポイント。**(しつけ絵本・総合絵本は心が動かない)
・「ぐりとぐら」は出版から60年読み続けられている。なぜか？**面白くて楽しくてうれしくなる→いつまでも心に残る→心を動かす喜びこそが生きる力となり成長を促す。**
- 3、 良い絵本とは
・字の読めない時期を大切に。絵本の絵はことばでもある。絵本の絵を読む楽しさ。
・三度の繰り返しの意味。知っていることの安心感 **「もう1回読んで」は最高の誉め言葉**
- 4、 昔話の大切さ
・昔話は、面白さの中に人間の生きる叡智が詰まっている。
・困難に立ち向かう主人公を通して、**愛・勇気・正義・希望・忍耐**など人生を生き抜くための大切な事柄が語られている。

講座の時間を設けて頂きありがとうございました。絵本を読む大切さを学ぶことが出来ました。絵本「ちょっとだけ」は弟(0歳)のいる生活にそっくりで夢中で聞き入っていました。家に帰り絵本に誘うと嬉しそうに選んでくれました。絵本と子どもとの時間大切にしていきたいと思います。
うさぎ組保護者様

保育参観ありがとうございました。久しぶりに走ったり体を動かして私も〇〇も夜がぐっすり眠りました。先生が色々考えて保育に当たって下さっているのでもいつも楽しく通っています。今日の参観も一時間があっという間に過ぎ、〇〇もこんな感じで過ごしているんだなあ改めて先生方には感謝しないとイケないなあと思いました。

上田先生のお話もとても良い時間でした。絵本の大切さは分かっているつもりでいましたが、子供と大人一緒に楽しめる絵本をまだまだ続けていきたいと思いました。お弁当ごちそうさまでした。おいしかったです。給食の先生方にお伝えください。 年少児保護者

保育参観はお世話になりました。元気いっぱいの〇〇をみて、楽しんでいる様子が伝わってきました。一緒にしましたがきついですねー。子どもの体力はすごいなあと思いました。一番楽しかったには「駒とトランプ」と言っていました。いい体験が出来ました。

育児講座では絵本の大切さを再確認することが出来ました。忙しいとつい後回し、または読んであげられなかったりしますが、絵本を読むことは楽しみにしている子ども達。「もう1回読んで」は最高の誉め言葉だという事を忘れずにこれからもたくさん本を読んであげたいと思いました。とてもいい講座をありがとうございました。お弁当も美味しかったです。毎日栄養たっぷりのご飯が食べられる子ども達は幸せだなあと思います。「給食だいすき！」と言っているのでもたくさん食べて大きくなってほしいと思います。

年中児保護者

12月「わらべ」で「スマホ時代がやってきた」をご紹介したところ、感想を寄せて下さいました。ありがとうございました。

- ・以前から保育園からも「中毒性がある」とお話しいただいていたので、うちでは子ども達にスマホは触らせていません。スマホにロックもかけています。大人の方がスマホばかり触ってしまうので問題だと思います。子ども達と出来るだけ視線を合わせて日々を過ごしていこうと思っています。
- ・私も子どもの前ではスマホを触らないようにしていますが、スマホ依存で育った子どもたちが作る今後の世の中が不安になりました。

保育参観ギャラリー



3歳児クラスも・4・5歳児クラスもホールや体育館でいっぱい体を動かして遊んだのですが、残念ながらその場面を写真に収めることは難しかったです。どの子もお家の方とゆっくり遊べて笑顔満開です。



保育参観お世話になりました。普段どれだけ体を動かしていないか痛感しました。きっとどこの園の保育参観より走っていると思います。こまわしも私がはまってしまい一緒に家でもやりました。巻くのがなかなか難しいです。育児講座のお話もとても楽しく、絵本を読んであげることの大切さを改めて感じました。家に帰って、早速絵本の収納を変えて読む本と触れ合う時間が増えるようにすぐ取れるところへと出しました。

年長児保護者

保育参観楽しかったと話していました。普段運動しないので、久しぶりにあんなに走りました。いい運動になりました。子ども達は始まる前から走っていたのに始まってからも走っていたので体力がすごいなあと思いました。

絵本を読むことが少なかったので、絵本をたくさん読んで子どもの心の栄養を補い、自分のことを好きな子にこれからも育ててくれたらなあと思いました。大きくなっても心に残っている絵本を子どもが見つけれたら、与えられたらなあと思いました。

年中児保護者

令和5年度「第2回こどもSDGsの日」 熊本県下一斉ボランティア活動

ボランティア活動の大切さを学び、地域に貢献することの重要性を認識するため、毎年11月を「熊本県保育所ボランティア活動の日」とし、県下一斉にボランティア活動を実施しています。

富岡保育園でも、12月14日(木)年長・年中さんと西の海のごみ拾いをしました。子どもたちは、昨年を経験しており、皆「がんばるぞ!!」と意欲満々で出発しました。いざ西の海についてみると例年よりもごみは少なかったのですが、広い砂浜を3か所に区切ってごみ拾いをスタートしました。皆で力を合わせてあっという間に三つのごみの山ができ、ボランティア活動を立派にやり遂げました。子ども達の活動中、西の海を散歩されていた地域の人たちから「みんな偉いね。きれいにしてくれて。ありがとう!!」と声をかけてもらい子ども達も喜んでいました。子ども達と一緒に拾ったごみを確認すると外国から流れてきたに違いない見慣れない文字が付いているペットボトルもありました。この活動を通してきれいな海を守るために「ごみを捨てたらダメ」という事も学んだ子ども達でした。

この日は雲一つない真っ青な空で、キラキラと輝いている海を見て「先生ダイヤモンドが海にいっぱいあるみたいだね」とつぶやいた子もいました。こんなきれいな自然の中で日々生活できることを有難いなあと思いました。



12・1月の行事予定

12月27日(水) 誕生会

12月28日(木) 弁当の日 保育終了

12月29日～1月3日まで 年末年始休み ホリデー保育はありません

2024年

1月4日(木) 新年スタート 送迎バスも運行いたします。

1月7日(日) 苓北町消防出初式 年長児参加 コミセングラウンド午前8時20分集合

1月15日(月) 岡田先生運動遊び教室

1月16・23日(火) まどか先生音楽指導

1月18日(木) 沖吉けいこ先生童謡教室

1月19日(金) 来年度入所受付 15:00～17:00 富岡保育園

2月17日(土) ほほえみ発表会(富岡公民館)